

「児童生徒、教職員双方のコミュニケーション能力の育成・向上」に関する実践事例

学 校 名	山口県立下関工業高等学校
テ ー マ	オフセットミーティングを活用した、業務改善とコミュニケーション能力の育成
対 象 者	教職員
実施場所 (環境等)	業務改善を進める学校組織
<p><b>内容（具体的な取組）</b></p> <p><b>(1)ねらいと展開</b></p> <p>学校は、校務分掌や各種委員会等で明確に組織化されている。しかしながら、仕事内容の踏襲化や情報の占有化、さらにはコミュニケーション不足等により、教員間・分掌間の相互の連携が十分図られていないため、行っている仕事の必要性の確認や、見直しについて課題がある。</p> <p>ところで、教員は日頃、自分の意見を述べたいと思う事が必ずある。その様な思いを確実に発言する機会を設け、それを他の教員がしっかりと聞くことにより、これまで発言できなかった教員にも発言の連鎖が生まれ、それが相互のコミュニケーションにつながると考えられる。</p> <p>そこで、自由なメンバーと雰囲気の中で、課題やその改善策や提案意見（思い）をだれでも発言（発信）することができる機会と場所を設け、組織の課題解決や改善につなげるのが、「オフセットミーティング」である。</p> <p>「オフセットミーティング」は、誰かが課題に気付き、それを組織で共有し、組織として改善に取り組むとともに、その過程で教員間のコミュニケーションの能力の育成・向上の一助とするものである。</p> <p><b>(2)実践の工夫</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 課題は、ある程度絞った内容で行う。</li> <li>② 開催の日時は、決めておく。（例 毎週月曜日の2限、1時間）</li> <li>③ 場所は、10名程度入れる部屋で行う。</li> <li>④ 発言者は、出来るだけ自分の思いを相手に伝えるために、資料があれば準備する。</li> <li>⑤ 発言に責任を持たせる意味で、発言者を責任者として改善策を実施する。</li> </ol> <p><b>(3)成果及び課題</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①成果             <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 進路主任からの業務改善に関する提案をもとに、関工SSK（精選・整理・効率）と名付け、学校全体での取組として位置付け、学校評価項目にも取り入れた。また、関工SSKへの取組項目を、広く募集中である。</li> <li>イ 朝の職員朝礼の省力化と生徒とのふれ合い時間確保のための改善が出来た。</li> </ol> </li> <li>②課題             <p>提案者の責任による実施のため、導入の当初の出席者が限られてくる。</p> </li> </ol>	
<p>※参考資料等</p>	